

起伏しらぬ

(大正十一年寮歌)

牧原東洋男君 作歌

高橋北雄君 作曲

一

起伏^{おきふし}知らぬ運命^{さだめ}こそ
時の流転^{とぎ るてん}の弧^この上^{うえ}を
あはれ雪解^{ゆきげ}のましみづに
なが^{なが}流^つれて尽^たきぬ濁流^{だくりゅう}よ

二

未知^{みち}のひろ野^ののかぎろひて
かが^{かが}や輝^きくまでに萌^もえ出^いでし
わか^{わか}若^{くさき}き草木^{くさき}のさゆらぎに
はる^{はる}ふか^{ふか}春^{はる}深^ひき日^ひの逍遙^{さすらい}や

三

澄^すみて雲^{くも}なき空^{そら}と野^のを
かぎ^{はし}りて走^{やまなみ}る山^{やま}並^{なみ}に
たか^{たか}高^{こう}き心^{こころ}のをのき^{のき}は
おど^{おど}躍^{ちほ}る血潮^{ちほ}の真夏^{まなつ}日^ひ陽^ひよ

四

銀^{ぎん}の香炉^{こうろ}にし^しのび雨^{あめ}
に^にれ^れ楡^{しげ}の繁^{まじ}みに交^{まじ}らへば
おほ^{おほ}あめ^{あめ}つち^{つち}大^{おほ}天地^{あめつち}も傾^{かたむ}きて
いのち^{いのち}命^{いのち}かなしき秋^{あき}なれや

五

夜^よ毎^{ごと}にさ^さゆる窓^{まど}の星^{ほし}
やみ^{やみ}ゆ^ゆ闇^{くら}行く櫓^{そり}の鈴^{すず}の音^{おと}に
まこと^{まこと}真^ま理^{こと}の水^{みづ}の人^{ひと}掬^{むす}ひ
もと^{もと}求^{もと}めてやまぬ瞑想^{めいさう}よ

六

深^{ふか}き安^い息^{こひ}の夢^{ゆめ}やすく
あこ^{あこ}が^がれ^れげに憧^{あこが}憬^れの地^ちやこ^こに
たく^{たく}み^み芸^{げい}術^{じゆ}の霊^{れい}ぞた^ただ^だよ^よへ^へる
じい^{じい}ち^ち自^じ由^{いう}の精^{せい}ぞみ^みな^なぎ^ぎれる